（様式１）**※本様式を参考に各校の状況によって加筆修正が可能である。**

　 令和〇年〇月〇〇日

保護者各位

　岡山県立〇〇　　学校

校　長　□□　　□□

居住地校との交流及び共同学習について（御案内）

本校では、児童が居住地校の児童とともに学習・活動をすることによって、経験を広げ社会性を養い、好ましい人間関係を育てることができるよう、次のとおり居住地校との交流及び共同学習を計画しています。岡山県立特別支援学校小・中学部に在籍する児童生徒が、自分の住んでいる地域の小・中学校（以下、「居住地校」という。）におく副次的な籍のことを岡山県では「交流籍」と呼びます。「交流籍」があることにより、居住地の学校の一員として位置付けが明確になり、特別支援学校の児童生徒は「私の学校、私のクラス」、居住地校の児童生徒は「私のクラスの友達、仲間」という意識が芽生えます。居住地校交流の積極的な実施により、地域の仲間としての基盤が育ち、大人になってからも共に地域に生きる仲間としてのつながりが続いていくことが期待できます。

つきましては、居住地校との交流及び共同学習の希望の有無について、別紙調査回答用紙に必要事項を記入の上、△月△日（△）までに担任まで御提出ください。

記

1　　実施時期　　令和〇年〇月から〇月のうちの○日程度

　　　 ★居住地校と協議して、回数や内容を決めますので、必ずしも希望どおりに実施で

きない場合もあります。

２　　対 象 者　　〇〇支援学校　　〇学部児童生徒の希望者

３　　参加について

居住地校交流の仕方には「直接交流」（居住地の小・中学校に赴いての交流）と「間接交流」（学校だより・学級通信の交換、作品の掲示等、「オンラインによる交流」があります。

（１）直接交流

①原則、保護者の送迎により行います。活動中は、様子を見守っていただくことも可能です。ま

た、本校より教員も同行します。てんかん等の発作への対応は保護者の方でお願いします。

②欠席等の場合は、必ず本校に連絡をしてください。

③教材等経費が必要な場合は、保護者の負担となります。

④当日は、出席扱いとなります。

⑤活動中の事故によるけが等については、日本スポーツ振興センターで対応します。

（２）間接交流

①交流の仕方について、担任が居住地校と相談をします。

（３）オンラインによる交流

①オンライン会議システムを用いて教室同士をつないで交流をします。